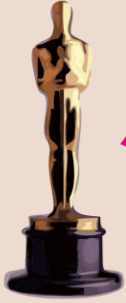


オンライン映画上映 福岡県人権啓発情報センター

1984年アカデミー賞【最優秀長編記録映画賞】受賞



# ハーヴェイ・ミルク

## The Times of Harvey Milk

定員  
200名  
申込順

無料

配信日時

2022年

3月25日(金) 9:00

~ 3月27日(日) 24:00

※オンラインでの視聴が難しい方は、  
会場での視聴が可能です。  
お電話にてお申込みください。

3/26(土)14:00~15:30  
クローバープラザ  
東棟7階 視聴覚研修室  
(福岡県春日市原町3丁目1-7)

お申込み・お問合せ

(公財)福岡県人権啓発情報センター  
ホームページよりお申込みください。  
先着200名の方へ視聴用のURLを  
お送りします。



ホームページ▷  
<https://www.fukuokaken-jinken.or.jp/>

お問合せ▷  
(公財)福岡県人権啓発情報センター 事業課  
電話：092-584-1271

視聴方法

パソコンやタブレットPC、スマートフォン、  
インターネット環境が備わったテレビ等で視聴  
いただけます。

制作・監督：ロバート・エプスタイン、リチャード・シュミーセン 配給 パンドラ <http://www.pan-dora.co.jp/>



ハーヴェイ・ミルク  
彼の死にサンフランシスコの街は泣いた  
彼がこぼわったのは たったひとつ……  
Who am I?

時代を超えて  
永遠に語り継がれる  
世界ドキュメンタリー  
映画史上に燦然と輝く  
希望と愛の映画

オンライン映画上映

### 申込書

※ホームページ以外から  
お申込みの方は、この  
申込書を、FAXまたは  
郵送でお送りください。

ふりがな  
お名前

電話番号

住所  
または  
メール

FAX：092-584-1273 郵送：〒816-0804 春日市原町3丁目1-7

## ハーヴェイが私たちにくれたものは 明日への希望と精気だった

エッセンス

1978年11月27日、サンフランシスコの夜の街を星が埋め尽くした。ハーヴェイ・ミルクとマスコーニ市長が市庁舎内で、同じ市政執行委員であるダン・ホワイトにより殺害されたのだ。45000人もの人々が静かにロウソクを掲げ、二人の冥福を祈った。「サンフランシスコの夜で、ましてや他人に囲まれているのに、自分の家にいる時と同じ安らぎを覚えたキャンドルマーチだった」と自動車工のジム・エリオットは語る。



挑戦的で魅惑に満ちた素晴らしい映画である。スタッフの根気強さと見識が同性愛・異性愛の枠を取り払い、この感動的な映画をすべての人に意味あるものになっている。

—ロサンゼルス・タイムズ

緊張感・情熱・憤りをもって語られてゆく、心温まる上質のドキュメンタリーである。

—ニューヨーク・タイムズ

美しく、力強く、そして意識を高めてくれるのに、なぜか、もの悲しく怒りを呼び覚まされる。現代を生きるゲイの人々の日常と政治的葛藤を描いたドキュメンタリーだ。個人の生き方が時代と重なり歴史を創り、芸術の域にまで高められた貴重な記録である。

—ネーション



“Powerful, moving and dramatic.”  
—Newsweek

1984 / 16mm・DVカム/カラー  
87分/アメリカ映画  
製作・監督：ロバート・エプスタイン  
リチャード・シュミーセン  
編集：デボラ・ホフマン ロバート・エプスタイン  
ナレーション：ハーヴェイ・フィアスタイン

ハーヴェイ・ミルクは大学卒業後、海軍、証券アナリストを経て、ブロードウェイのプロデューサーとなり、その後、ベトナム反戦運動に関わるようになる。ニューヨークのゲイバー「ストーンウォール」を警官が襲撃した事件をきっかけに、ミルクはゲイ解放運動に参加してゆく。サンフランシスコに移住した彼は、積極的に地域住民と関わるようになり、ゲイとして全米初の市政執行委員に当選する。ゲイ、レスビアンだけでなく、非白人、老人、身障者、女性たちとともに、草の根運動を展開。当初、ゲイだというだけで彼を毛嫌いしていた人々も次第に彼の誠実さや、弱者のための活動を理解し始める。希望を持つことの大切さを訴えた彼の最大の理解者は当時のジョージ・マスコーニ市長だった。

ミルクは人生の絶頂期にあった。だが不慮の出来事により、マスコーニ市長とともにこの世を去る。そのうえ、彼らを狙撃したダン・ホワイトの裁判は驚くべき展開をみせる…



### 「ハーヴェイ・ミルク」の 劇映画化「ミルク」!

「ハーヴェイ・ミルク」は、公開当初から世界ドキュメンタリー映画史上不朽の名作との評価が高く、1984年度アカデミー賞最優秀長編記録映画賞を受賞。日本では1988年にスタジオ2000（フリスベース）で上映され、予想を遥かに超える反響と動員を獲得。都内ミニシアターでの上映を経て、あつという間に全国上映へと広がっていった。

一方、ハーヴェイ・ミルクその人は、死後もこの作品を通じ世界中で多くの人々を魅了し、1999年には「タイム誌」の選ぶ20世紀の英雄・象徴的人物100人の一人に選出されている。

「ハーヴェイ・ミルク」の劇映画化は早い時期から立ち上がっていたが、ようやくガス・ヴァン・サン監督、シヨン・ベン主演で「ミルク」が完成、2009年度アカデミー賞最優秀主演男優賞と脚本賞を受賞した。「ミルク」のクレジットのラストには、完成後25年経ってもなお世界中で上映され続けているドキュメンタリー映画「ハーヴェイ・ミルク」と、その作家たちへの深謝の言葉が記されている。

